

サッカー協会の意向を踏まえ、今後の方向性について検討する必要があると考えております。
今後は、整備する場所や整門の備手法、スケジュールなどの様々な課題について、市と意見交換を行っていきたくと考えております。
なお、鴨池陸上競技場につきましては、本来の目的であります陸上競技に支障のないように、また、県立サッカー・ラグビー場につきましては、県民が気軽に利用できる競技場として管理・運営を行っているところであります。

◎県民生活関係について 【鶴丸城御楼門の建設に向けた課題等について】

答弁者：県民生活局長…御楼門の建設に向けた主な課題としては、大径木の確保、文化財保護との調整及び耐震性の確保などがある。

大径木については、昨年、岐阜県において鏡柱の候補となるケヤキを1本調達し、現時点でケヤキを8本確保するとともに、新たな5本の大径木について、活用の可能性を調査しているところである。

引き続き、情報収集に努めるとともに、関係団体及び関係機関とも連携しながら、確保に向けて、取り組むこととしている。

文化財保護との調整については、御楼門の柱の基礎であり、当時から現存する礎石は、県指定史跡となっていることから、それらの礎石を保護しながら、御楼門の重量に耐え得る構造の基礎とするためには、どのような工夫が適切であるか、各分野の専門家の意見を踏まえるとともに、関係機関との調整を行いながら、検討を進めているところである。

【垂水牛根の巨木が御楼門の伐】



「宇喜多秀家公」は備前国（現在岡山県）57万4,000石の大大名です。

関ヶ原の合戦では、西軍の副大将を務めましたが敗れ、徳川方の追及を逃れて薩摩へ落ち延びました。

薩摩の島津義弘公は、秀家公を牛根に匿いました。秀家公が牛根にいたのは2年3ヵ月ですが、様々なエピソードが伝えられています。その後、島津家の嘆願もあり、秀家公は八丈島に流され、八十余歳まで生きることになります。

この度の御楼門建造に際し、秀家公が植えたといわれている牛根の木材が使用される運びとなりました。島津に助けられた秀家公にとって、自分が植えた木材が御楼門（島津家）の建材となったことは、数百年の時を経て、恩返しができるということであり、喜ばれているのではないのでしょうか。数百年に及ぶ恩返しを伝える御楼門を、いつまでも守っていききたいものです。ずっと代々この杉（美作杉）を見守ってこられた平野家の好意に心から感謝いたします。

\* 文教警察委員会 \*

7月 奄美地区

○教育振興対策について

離島におけるICTの活用による授業改善の取組やアクティブラーニングによる学習指導などについて調査しました。

また、地域活性化に取り組む専門高校生及び共働事業所と意見交換を行いました。



ICT機器を活用した授業に取り組む複式学級の児童（徳之島町・7月）

編集後記

昨年8月にペルー鹿児島県人会創立100周年に議員派遣でまいりました。日本の裏側南米の地で鹿児島出身者の皆様方の会であり、鹿児島に縁の深い方々で移住100年を（200人の方々が集まり）祝う会でありました。日本を遠く離れた地で頑張っている方々の御努力に深く感銘を受けました。改めて日本人の勤勉さと謙虚さ、そして日本のよさを感じました。



祝賀会会場にて



平成28年8月22日 ペルー リマ市内にて



記念式典にて記念品を贈呈



タウンプラス

大隅は、ひとつ 正々堂々 第31号

堀之内よしひら県議会報告



青少年の健全育成を！ 地域の声を県政に！

謹賀新年、おめでとうございます



平成29年の初春、皆様方におかれまして恙なく、すばらしい正月をお迎えの事と存じ上げます。

我が国をとりまく環境は、大きな変革期を迎えております。

本格的な人口減少や少子高齢化が進み、社会保障費の増高するなか、国や地方の財政健全化に向けた歳出削減が本格化するのには必至で本県の置かれた状況は、依然として厳しい状況にあります。その様な中、昨年7月には、本県初めての民間人で三反園訓知事が誕生しました。「チェンジ」をスローガンとして掲げられ、「力強い元気な鹿児島に、変えて行きたい」考えに、多くの県民が期待して、当選されました。新しい知才の基、今後も県民のため、お互いが知恵を出し合いながら活発な議論を重ね、県政発展と県民福祉の増進を図ってまいります。



(県議会前に於いて)

昨年は4月に熊本で大震災が発生して50名の方が亡くなり大きな災害がありました。又、台風16号が9月20日大隅半島に上陸し、県内各地で暴風雨に見舞われました。大隅地方で1時間154ミリメートルの記録的な短時間の大雨となり鹿屋市、垂水市を中心に各地で大きな災害が起こりました。改めて、被害に遭われた方々に御見舞いを申し上げますと同時に、1日も早い復旧を祈念申し上げます。

この台風による被害は露地野菜や家畜などの農業施設、農地や水路等の耕地関係など甚大な被害を受けました。早急に国に対して特別の財政援助に対し垂水市を中心に、局地激甚災害の指定を行いました。

又、アメリカでは予想をしなかったドナルド・トランプ大統領が誕生し、TPPの脱退を始め、安全保障の見直し等、中国の東シナ海での海軍力の増強により、我が国の領土への脅威、北朝鮮の核実験ミサイル開発、拉致被害者救出問題、韓国大統領の疑惑による早期退陣、ロシアとの北方領土問題を含み、平和条約締結交渉等、国内外で大きな問題が山積しているなかで、9月議会で代表質問を致しました。その中で主な執行部の答弁を報告します。

これからも、地域の課題を中心に皆様方のくらしの向上に県政の場でしっかりと取り組んでまいります。今後とも変わらないご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

まだまだ、寒い日が続きますが、健康に十分ご留意頂き、今年も皆様方にとりまして、すばらしい年でありますように御祈念申し上げます。

ホームページ開設しました http://www.h-yosihira.net/

堀之内芳平

検索

鹿児島県議会議員 堀之内よしひら

発行元：垂水市田神59の5

平成28年 代表質問より

平成28年9月20日

◎知事の政治姿勢について

【県政運営にかける基本的考え方について】

県政運営にかける基本的考え方についてであります。本県は、日本の食糧供給基地と言われる、豊かな畜産資源を持ち、歴史文化遺産や大自然や温泉といった観光資源にも恵まれ、大きな可能性を秘めていると考えております。このような鹿児島にしかない魅力をさらに生かしたいと思い、県民と一緒に力強い元気な鹿児島に変えていきたいと考えております。そのために、先頭に立って全力で取り組んでいく覚悟であります。また、私は、フラット政治を目指しております。いろいろな人の意見を聞いて、県民目線で、県政を行うということでありまして、そのために、知事就任後、早速、現地視察や県民との意見交換を積極的に行きまして、今後とも、県民の皆様、県議会の皆様、県議会の皆様のご理解と御協力をお願い申し上げます。



平成28年 第3回定例会 9月20日代表質問

【マニフェストに対する具体的な考え方について】

マニフェストに対する基本的考え方についてであります。今回の知事選挙において掲げたマニフェストについては、現在、すべての項目について関係部局において検討を進めております。すみやかに進むべきものと、ある程度長い時間をかけてじっくり進めるべきものとがあると考えております。例えば、車座対話や、トップセールスなどは直ちに取組を始めたところでありまして、また、子供の生活状況等の実態を把握するため、鹿児島子供調査事業の今議会に補正予算として計上させていただいたところでありまして、子育て支援についても早期に取組を開始し、実施したいと考えております。マニフェストについては、今回の選挙における、私と県民の皆様との約束であることから、財政状況を勘案しつつ、施策の具体化を検討し、県議会の皆様の意見も伺いながら、その実現に向け、着実に取り組んで参ります。

◎総務関係について 【本県行財政構造の現状認識及び行財政運営への評価について】

答弁者：知事…本県行財政構造の現状認識及び行財政運営への評価についてでございます。

本県におきましては、自主財源が歳入に占める比率が3割程度となっております。全国平均が5割程度であるのと比較しますと低い水準であり、地方交付税や国庫支出金等の財源に頼らざるを得ない歳入構造となっております。

また、扶助費が増加傾向にあること、公債費が財政規模の類似する団体と比べると依然として多額に上っており、引き続き高水準で推移すると見込まれることを踏まえ、今後とも一層厳しい財政状況が続くものと認識しております。

そうした中、本県におきましては持続可能な行財政構造を構築するため、県政刷新大綱や行財政運営戦略に基づき、歳入・歳出両面にわたる行財政改革に取り組むこと、平成23年度以降、財源不足は解消しているところであります。

また、臨時財政対策債などを除く本県が独自に発行する県債の残高は、行財政運営戦略に掲げた1兆1,000億円程度に抑制するという目標の達成に近づいております。本県の財政は健全化に向けて着実に進んでいるものと考えております。

【マニフェストに掲げた施策に係る財源確保策について】



平成28年11月24日 自民党県議団 平成29年度鹿児島県政重点事項の推進について (知事に申し入れ)

答弁者：知事…マニフェストに掲げた施策に係る財源確保策についてでございます。

県勢の発展や県民福祉の向上に資する事業につきましては、これまで、歳入・歳出の両面にわたる行財政改革などに取り組む中で、その財源を確保してきたものと考えております。

私としては、新しい力強い元気な鹿児島をつくりたいという強い思いを持って、マニフェストに各種施策を掲げさせていただいたところであります。

その具体化に当たっては、速やかに行うべきものと、ある程度長い時間をかけてじっくりと進めるべきものとを優先順位を判断しながら着実に進めてまいりたいと考えております。私としては、引き続き、産業進行等を通じた税収確保やメリ

ハリをつけた社会資本の整備といった行財政改革などに取り組む中で、全体の財政状況を勘案しつつ、個別の施策ごと、つまり、ドーム球場や教育費の負担軽減、アウトレットモール、ウォーターフロント等の財源についても、政府や民間とも連携しながら、現実に向けて着実に具体的に検討してまいります。

◎危機管理関係について 【国の原子力政策に対するスタンスについて】

答弁者：知事…国の原子力政策に対するスタンスについて、であります。

原子力を含めたエネルギー政策は、基本的には、国の責任で行われるものであることは、承知しております。

国においては、平成26年に閣議決定された「エネルギー基本計画」で、原発依存度について、再生可能エネルギーの導入などにより可能な限り提言させることとし、昨年7月に取りまとめた「長期エネルギー需給見直し」の中で、安全性の確保を大前提としつつ、①震災前を更に上回る自給率の確保、②電力コストの引き下げ、③欧米の遜色ない温室効果ガスの削減目標として定め、これらを同時に達成する中で、2030年度時点のエネルギーミックスのあるべき姿を示したものと認識しております。

また、原発の再稼働については、規制委員会により、規制基準に適合すると認められた場合には、その判断を尊重し進めるとしてはありますが、いかなる事情よりも安全性を優先させ、国民の懸念の解消に全力を挙げることを前提としているところであります。

このような中で、私は、県民の安全確保や不安解消に先ず取り組み、将来ではなく、今から原発に頼らない社会を目指していくこととしております。



県議会見学の皆様方と

◎知事公室関係について 【ドーム球場整備の考え方について】

答弁者：知事…ドーム球場整備の考え方についてのご質問です。ドーム球場は、経済効果の面からも整備すべきだと考えております。

何故、ドーム球場かと申しますと、皆さんご存じのとおり、ドーム球場は、雨、灰、関係なく競技ができるというメリットがあります。つまり、プロ野球球団を呼んでくれるということでありまして。

私は、経済効果の面からも、ドーム球場を進めていきたいと考えております。

また、いわゆるドーム球場を作ることによって、イベントホールにもなります。そして、コンサートホールにもなるわけでありまして。3万人が入るコンサートホールがあれば、一流ミュージシャンも、まだたくさん来ていただけると思っております。

そうすることによって、宿泊施設、そして3万人が買い物していただける経済効果の面からも、私は必要ではないかなと思っております。

また、色々な面から必要である、それは、改めて申します。ドーム球場は財源についても考えていきます。

【国体に向けた施設整備に係る財源確保への取組について】

かごしま国体に向けては、開催経費の負担の平準化を図るため、平成24年度に基金を設置した。これまでに約100億円を造成し、今年度から一部を取り崩して活用する。施設整備に当たっては、国の交付金の活用することとしている。その所要額を確保するため、県では県開発促進協議会を通じて要望活動を行っている。また、県選出国会議員におかれましては、同交付金の予算確保等について、今年8月、要望を行っていただいた。



平成28年10月1日 スポーツ振興議員連盟会長として「いわて国体」で本県選手団を激励。

県としては、引き続き、県開発促進協議会による重点的な要望活動を行うなど、関係団体と一体となって所要額の確保に努めてまいります。

【サッカー場整備の考え方について】

答弁者：知事…サッカー場整備の考え方についてのご質問ですが、鹿児島ユナイテッドFCのホームスタジアムである県立陸上競技場につきましては、平成27年度における鹿児島国体の開催に向けた中で、J3スタジアムの要件に対応するための整備を行ったところであります。

J2以上に対応するために必要となるスタジアムの整備につきましては、まずはホームタウンである鹿児島市が、クラブや